

令和5年度 箱根町総合計画審議会及びまち・ひと・しごと創生  
有識者会議 第1回会議での意見一覧

令和5年11月2日開催

項目	意見
<p>学校教育の充実 【施策8】</p>	<p>38ページの3番目にある目標指数の「子供の自尊感情」については、箱根町のように、高い数値が出ているところはなく、私は素晴らしいことだと思っています。子供たちが、色々な関わりの中で、自分が大切にされていると感じていることの証明だと思います。この数字は箱根の子供たちの大きな特徴だといえます。「若者定住を目指す」という町の重点項目がありますが、給食の無償化、土曜塾とって塾に行かなくても無償で町がやっている学習支援等、様々な手厚い取り組みがありアピールできる点だと思っています。</p> <p>自尊感情について元々、元年度65%と高かったので、8年後の目標が70%というのは、目標設定として、もう少し頑張って高くしてもよかったですのではないかと思います。</p> <p>あと元年度62.6%で、現在35.3%になったのは、かなり減ってしまったと感じるのですが、Aの評価が付いている。私はこれはBくらいが妥当なのではないかと思いました。</p> <p>ご指摘のとおり書かれている事や指標の実績と評価の判定の区分で違和感がある。所管課では事業毎の実施状況を見て、全体的に計画通り進捗していたら、AないしBを付けている。我々が思っているほど、目標指標の達成状況を、それに直結させようとはしていないように見て取れます。直結する必要はないですが、ただ、ここに書かれている事とちょっと判定のズレが大きいように感じるのは余りよくないと思うので、その辺りは次年度以降、訂正・修正していただきたいと思います。</p>
<p>道路・交通網の充実 【施策17】</p>	<p>アンケートにある生の声が、総合計画にしっかりと、反映されていないようなので残念です。交通渋滞というのも「交通網に関して整備をしていく」とかの表現にとどまっていて、それだどどのような進捗であるかわかりません。渋滞問題専門プロジェクトチームがあっても良いと思います。</p> <p>道路の問題について、道路は町では造れません。町が直接できるものではない。</p> <p>この箱根の魅力というのは山なのです。だから大変交通の便も悪いし道についても。だから、それがデメリットになってしまっているところがあると思います。</p> <p>箱根の交通渋滞については、町長が出席される会議などでもよく話ができるが、湯本駅前が渋滞になってしまうとのこと。県では、県道731号線、通称「はこね金太郎ライン」を整備し、これにより国道1号の方に交通が集中しないよう南足柄市の方に迂回が出来るようにしました。</p> <p>住民の方もかなり渋滞でお困りだと思っておりますが、観光で来られた方が、箱根で楽しんだ最後に渋滞で嫌な思いをしてしまうというのは、町長もすごく気にされているところのようです。県や国が道路の関係で何が出来るのかというのは、今後も話し合っていかなければいけないと考えます。</p> <p>施策17について渋滞解消だけではなく、通常の道路の補修とかも含んでA評価となっている訳です。必要な整備はやるのですが、この5年間で渋滞を完全に解消する程の画期的な施策構成には、多分なっていないと思います。</p> <p>アンケート調査ですが、計画策定時この前身の会議において内容について委員も確認しており、当然町もその内容を踏まえた上で施策を立案している訳です。が、さらりとした書き方になっていて、切迫感に欠ける印象になると思うのですね。その辺りはもう少し、減り張りを付けた書き方や取り組み方法についても今後考えていく必要があると思います。</p>

項目	意見
協働のまちづくり の推進 【施策33】	<p>DMOの様に官民町民一体となったプロジェクトチームというやり方を、総合計画に一部でも取り入れられないかなと思っています。取り入れられたら計画ももう少し進みやすいと思っています。是非ともプロジェクトチームみたいな発想で動けるような流れが出来たら良いと思います。</p> <p>官民連携の力が大きな「まち作り」の力になるというご意見だと思いましたが、総合計画の施策の33「協働のまちづくりの推進」ということで、官民連携の大切さについては掲げているところです。総合計画の各施策についても必要に応じてDMOが前面に出てきている施策もありますが、官民連携の大切さを十分認識した上で、今後も取組んでいきたいと考えております。</p>
計画的な行財政運営 【施策34】	<p>政策を作っている間に町がへたってしまえば、住んでいる町民の方とか、会社も駄目になってしまうので、財産をうまく生かして政策を作って頂ければと思います。</p>
総合計画 目標設定について	<p>全ての項目が同じように評価できるように数値（KPI）を作れると思いませんが、出来る限り根拠を示していただきたいと思っています。これでは、数値的には達成出来ているけれど、実際は本来の成果が得られていないことから達成価値が下がり残念なことになります。</p> <p>全ての目標値について明確な根拠を求めるのはなかなか難しいので、重要な指標は、なぜこの目標値の水準にしたのかを説明出来る状態にはしておく必要があると思います。</p>
重点施策の表記 について	<p>全体的に見て、どの項目が今一番優先度が高いとか、重要なのかっていうところが分からない。本当に重要なもの、優先度が高いものに印をつけておくとか、これに一番力を入れているところに、マークを付けた方が、非常に分かりやすいと思います。</p> <p>21ページの右のところに、「重点施策」と緑に白抜きで5つほど掲げており、これを重点施策として位置付けているもので、実施状況を報告する際には、この事業は「重点施策としてやっているものです」等、そのような表現は当然あってしかるべきですし、分かりやすい広報や公開、公表が求められているところですので、次年度の状況報告の際には、そのようなことを反映出来るようにしていきたいと思っています。</p> <p>次年度については「重点施策」の五つの括りについて、そのようにお願いしたいと思っています。別途、評価するようなページが加わる事が望ましいと感じました。</p>
評価の仕方について	<p>AとBの判定が付いているものを見ても、なぜそう判定したのかというのが、記述内容だけ見ると余り区別出来ません。</p> <p>またC、Dが付いた評価はゼロでした。今後、施策について所管の部長さん等がC評価、D評価が付け辛くなるので、少し厳しく企画の方でチェックして、根拠が無かったらCないし、「せいぜいBではないか」といったやりとりをする必要がある。今後の方向性についても明確でなくて、差がほとんどないです。その辺りはもう少し厳格にするようにしていただきたいと思っています。</p>

項目	意見
アンケートの設問設定について	<p>アンケートの設問に「必要最低限の衣食住（食べ物や住む所等）」とある。箱根町は「必要最低限のこと」を求めている地域なのかと思ってしまいました。「衣食住に関して利便性がありますか」という設問なら良いと思うが、これでは町民に失礼ではないかと思うのです。「利便性はどうですか」とすれば満足度はかなり低い結果となり、「必要最低限」であれば高い結果となるなど質問の仕方によって結果が変わってくるので「利便性があるのか」という質問のほうが良かったなと思いました。</p> <p>確かにアンケートとして余り使わない表現ではないかと大いに反省すべき点だと思いますので、次回また次期の総合計画策定の際のアンケート、その他の色々な計画についても質問の内容、表現の仕方について注意し対処していきたいと思います。</p>
総合戦略【目標3】	<p>「買い物環境に不便と感じる割合」について、現状85%の人が不便と感じているなか、目標値が70となっており、ほとんどの人が不便だと思っていることが目標になるのか。例えば、10%ぐらいにするべきですよ。この辺は見直していただければと思います。</p> <p>町民アンケートによる割合ですが、ゼロになる事が理想ですが、令和8年度までの期間という中では、現状より少なくとも1割程度は減らして、不満解消を進めていくことを目標にしています。70まで達成できれば終わりでは決して無く、ゼロにしていきたい気持ちがある中での目標値となっています。</p> <p>町が考える現実的なレベルの目標値設定になっていると思いますが、目標が70でも60でも努力はしていただき、目標値に近づいたら、その値を更新していくことは構わないと思いますので、そのようにしていただきたいと思います。</p>
総合戦略全般	<p>総合計画と同様に優先順位を付け、暮らしやすい、住みやすいという土台があることで、初めて、箱根をPRし易くもなるし、出来るので、優先順位を付けて欲しいなと思います。</p> <p>総合計画と同様に、重点分野を切り出して見せていく手法が効果的ということで、今後そのようにしていきたいと回答しましたが、総合戦略もそのとおりだと思います。この総合戦略についても一度作ったら終わりでは無く、次期総合戦略も総合計画と同時期に検討することとなりますので、より良い計画戦略となるよう努力していきたいと考えています。</p> <p>総合戦略は、人口減少が進み影響が出てきたので、早期に対応しようということで、当初3年位の計画が標準でした。重点的に対策をしてもらうために国がお金を配り、ほぼ全自治体を作ってます。短期間で集中的にやる内容で、当初は重点化したものを載せていました。ある一定期間まで重点的にやるものを中心に、そこに資金をつぎ込んで、効果を出していくというものとして捉えたほうが良いと思います。いずれにしても今、その位置付けが少し曖昧になっていると思います。</p>